

製品名: ユビキチン K48 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00128**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Refer to figures

抗原情報

遺伝子名	UBB
別名	FLJ25987; MGC8385; ubiquitin B; Ubiquitin; UBCEP1; UBCEP2; RPS27A
遺伝子 ID	7314
SwissProt ID	P0CG47
免疫原	ヒトユビキチンの合成ペプチド

背景

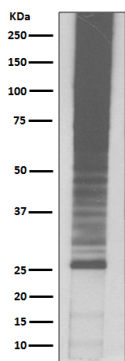
ユビキチン-プロテアソーム経路において重要な役割を果たします。ユビキチンは、ユビキチン化プロセスによって多くの細胞タンパ

ク質と共有結合し、26S プロテアソームによる分解の標的タンパク質となります。標的タンパク質とユビキチンの結合プロセスには、3つの要素が関与しています。ユビキチンはまず活性化要素 E1 とチオールエステル複合体を形成することで活性化されます。活性化されたユビキチンは次にユビキチンキャリアタンパク質 E2 に転移し、E2 からユビキチンリガーゼ E3 へと運ばれ、最終的に標的タンパク質のリジン残基のイプシロン NH2 へと輸送されます。

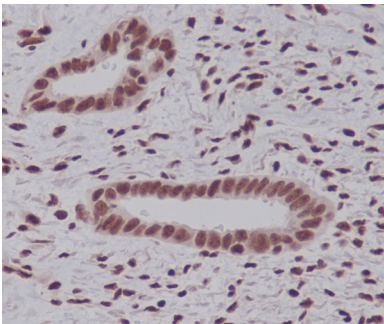
研究分野

神経科学

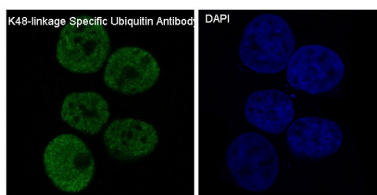
画像データ



ユビキチン K48 抗体を使用した Jurkat 溶解物中のユビキチンのウェスタン プロット分析。



K48 結合特異的ユビキチン抗体を使用したパラフィン包埋ヒト子宮内膜癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



K48linkage 特異的ユビキチン抗体を使用した MCF-7 のユビキチン K48 の免疫蛍光分析。